＜参政党　陳情文案ー１＞

〇〇議会　議長　〇〇〇〇殿

新型コロナワクチン接種の安全性確保と生活再建のための個人給付等を求める陳情

（趣旨）

新型コロナウィルス感染の世界的な蔓延は２年目に入り、我が国でも感染抑止のための緊急事態宣言が繰り返され、国民生活にも深刻な打撃を与えている。

この間、第二次安倍晋三政権においては、一人当たり１０万円の個人給付が各種営業支援策と共に行われたが、現在の菅義偉政権においては個人給付は見送られた。その中で飲食業をはじめとする営業時間や酒類提供の抑制、外出自粛の要請などにより中小零細業者や派遣労働者、パートタイマーの営業、収入を大きく損なう事態となっている。

一方でようやく新型コロナワクチンの接種が開始されつつあるが、医療関係者への接種を優先的に進めつつまだ端緒的な進行であるにもかかわらず、接種を受けた人の中に重大な副反応が報告されている。厚労省ホームページ「新型コロナワクチンの副反応疑い報告について」では、本年２月１７日から４月２７日の間で「情報不足等によりワクチンと症状名との因果関係が評価できないもの」とされつつも「接種後の死亡」が１９件と示され、その他に４月２５日までの間に行われた2,718,090回の接種中、副反応疑い報告が６３３件、うち国際的な基準でアナフィラキシー（じんましん等、アレルギー症状）が９４件となっている。

以上に鑑みるなら、現在の新型コロナ感染禍において引き続き多大な生活・営業上の損失、収入減少を蒙った事業者、国民の経済的支援策が切実であると共に、感染拡大のための施策としてとられるワクチン接種については、そのリスクに関する情報を十分に周知して接種に対する自主的な判断を担保しつつ、安全策と万一の際の補償措置の徹底が求められる。そこで、〇〇議会におかれては、下記の点（陳情内容）について施策推進を当該行政機関へ求めると共に、国に対して必要な施策を求める意見書の採択を陳情するものである。

（陳情内容）

１．国は新型コロナ感染禍とそれに伴う措置の連続、長期化に鑑み、国民生活を支援し経済再建を図るために早急に再度の個人給付を行うなどの経済施策を実施すること

２．新型コロナワクチンの接種にあたり、国、地方自治体および関係機関において個人の自主的な判断を保障し安全性を担保するためにも起こり得る副反応、アナフィラキシー症状の問題について情報提供を十分に行うとともに、重大な副反応発生に関して個人補償措置を確立すること

以上、陳情する。

令和３年〇月〇日

＜陳情者＞　　　　住所：

　　　　　　　　　　　　氏名：